

令和4年第2回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
6月14日(火)	午前	1	小林 由明 議員		○	
	午後	2	長井由喜雄 議員		○	
		3	土田 昇 議員		○	
		4	樋浦 恵美 議員		○	
15日(水)	午前	5	丸山 吉朗 議員		○	
		6	宮路 敏裕 議員		○	
	午後	7	田澤 信行 議員		○	
		8	岡山 秀義 議員		○	
		9	柳川 隆 議員		○	
16日(木)	午前	10	大岩 勉 議員		○	
		11	タナカ・キン 議員		○	
	午後	12	齋藤 信行 議員	○		

令和4年第2回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発 言 者 の 氏 名 (一問一答方式)	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
1	小林 由明 (一問一答方式)	1. 良好な都市環境の構築について	(1) コンパクトシティプラスネットワークと公共交通の今後について	<p>①人口減に加え高齢化と少子化が進む中であって、ドライバー不足や採算性などの課題もあるが、今後の公共交通がどうあるべきと考えるのように取り組んで行こうと考えているか。</p> <p>②弥彦線は燕市の都市形成の骨格をなし、信越線、新幹線、越後線をつなぐ極めて重要な公共交通の一つであるが、運行本数が減少しその利便性が低下している中で、人口減とともに更なる運行減や運行廃止などを懸念する声がある。弥彦線の今後の見通しを伺いたい。</p> <p>③市は都市形成における弥彦線の存在意義と、今後の弥彦線のあり方についてどのような考えを持っているか。</p> <p>④LRTやBRT、自動運転などの導入が全国的に進みはじめているが、市はそれらの導入、整備についてどのような考えを持っているか</p> <p>※LRT (Light Rail Transit) : 低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する軌道系交通システム</p> <p>※BRT (Bus Rapid Transit) : 連節バス、PTPS (公共車両優先システム)、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステム</p>
			(2) 超高齢社会における都市の災害対応力と都市環境の向上について	<p>①市街地では人の高齢化と建物の老朽化が進み、地震や火災発生などによる被害の拡大を懸念している。超高齢社会が進む中であって、今後さらにそれらの状況は深刻さを増していく。その対策は喫緊の課題であると考えているが、市の考えを伺いたい。</p> <p>②市民の防災意識向上のための啓発活動などに加え、行政による防災空地としての公園整備など、災害対応力を高めるための都市整備を通じた良好な都市環境の構築に取り組むべきではないか。</p> <p>※超高齢社会：65歳以上の割合が「人口の21%」を超えた社会</p>
		2. 働き手確保と移住支援について	(1) 移住者の家賃補助について	<p>①現在実施している燕市移住者住宅支援事業補助金では、就職のための移住の場合は県外者のみが補助対象となっている。燕市内の事業所に就職した場合には、県内からの転入であっても補助対象とし、さらに居住誘導区域内の空き家に入居した場合には補助加算がなされる制度を実施できないか。</p>

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
2	長井由喜雄 (一問一答方式)	1. 社会教育施設の 使用料について	(1) 使用料引 上げ後の利 用の変化と 実態につ いて	①社会教育施設の使用料引き上げによってスポーツや社会教育に関係する団体は大きな負担となっていることと思う。引き上げ前後の団体数や利用状況について伺う。
			(2) 使用料引 き上げ後の 使用料につ いて	①市は社会教育施設使用料の引き上げにあたって、利用する者が応分の負担をすべきであるとし、使用料の引き上げによって使用料収入を増やし、市の負担を軽くするとしていた。引き上げ後の使用料収入について伺う。 ②現在、社会教育施設でも利用できる設備や状況が違っているのではないかと。施設による使用料の変更や課題のある施設については改修するなどの検討はされてきたのか伺う。
			(3) 市長選に おける選挙 公報の公共 施設に対す る考えにつ いて	①鈴木市長の選挙時の公報で、「行財政改革」の項で「公共施設の統廃合や民間活力の導入を進めます」とあるが具体的な考えについて伺う。
			(4) 社会教育 についての 市の考え方 について	①地方自治体における社会教育の考えの変化を感じる。燕市においても、市民のスポーツ、生涯学習の保障の場という考えから、受益者負担を最大の条件としての施設運営に変化させてきたと思う。これは町内会でもつ集会所や公会堂などでも受益者負担として使用料を徴収するところがあるなど、地域のコミュニケーションにも大きな影響を与えている。市の社会教育の考え方について伺う。
		2. 保育およ び学校にお ける給食に ついて	(1) 好評な学 校給食のS NSでの発信 と保育園の 情報発信に ついて	①学校給食の献立がInstagramで伝えられるようになり、親からも好評の声を聞く。現在写真がアップされるのは東部か西部のどちらか一方だが、両方をアップした方がさらに喜ばれるのではないかと。考えを伺う。 同様に、公立保育園やこども園などでも、全体のホームページやSNSなどで給食や子供たちの様子を伝えるなど、園を身近に感じてもらえる工夫も求められるところと思うが、取り組みについて伺う。
			(2) 食材が高 騰する中で の給食の考 え方につ いて	①様々な社会状況により、給食食材が高騰している。自治体によっては利用者負担とする中で、燕市は今議会における補正予算案で市の負担という形で収めていることは市民からも喜ばれることと思う。市の今般の対応について伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
2	長井由喜雄 (一問一答方式)	2. 保育および学校における給食について	(3) 社会状況を受けて今後も続くことが予想される食材引き上げにどう対応するか	① 今後も世界的気象状況や食材の生産や輸送などへの燃料費の高騰が影響して、仕入れコストの増加が予想される場所だが、これからも家庭への「給食費」への転嫁は避けることが求められる。市の今後の考え方を伺う。
			(4) 保育および学校給食の無償化について	① 家計収入の減少や家庭状況の変化などにより、子ども食堂やフードバンクなどの社会的支援が重要となっている。保育施設や学校などでは、子供の栄養摂取状況の調査などは行っているのか。子供の栄養状況の把握について伺う。 ② 現在燕市では給食費は有償を基本としているが、給食費の無償化への取り組みは子育て支援策の中でも上位の課題となってきているのではないかと考える。市の考えを伺う。
		3. 市民の医療に関する問題について	(1) 県央基幹病院の機能の変更点と市民への説明について	① 基幹病院の建設が進められ、2023年度開設にあたって、燕労災病院でも総合診療科を設置したり救急の受け入れが積極的に行われているが、機能の変更や後退については県央地域住民への説明が十分に行われていないのではないかと考える。あらためて変更点と市民への影響を伺うとともに、対面形式の住民説明会の実施を求めるべきかと考えるが、市の姿勢について伺う。 ② 市民が期待する基幹病院の役割について市の考え方を伺う。 ③ 県央圏域における病床数について、三条総合病院の完全閉院の方向が示されたことで基本病床数がさらに減少する。これは県央圏域自治体全体の問題と捉えるべきであり、三条市だけの問題ではないのではないかと考える。
			(2) 市長選における選挙公報の医療政策について	① 公報の「医療福祉の充実」で「国民健康保険税の引き下げなど医療福祉の充実を図ります」としているが、具体的内容について伺う。
		4. ウクライナ難民の受け入れについて	(1) ウクライナ難民の受け入れの考えについて	① ロシアによるウクライナへの侵略戦争は終息が見えない状況となっているが、日本においても難民を受け入れる自治体も出てきている。燕市でも希望者については受け入れてはどうか考えを伺う。

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
3	土田昇 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 令和4年度の施政方針について	<p>①戦略1「定住人口増戦略」の中で、施策3の「変化に対応する農業の振興」で「米価の下落等大きな影響を受けている農業経営者に対し、水稻と園芸作物による複合営農への取り組みを推進するため、園芸作物の作付け面積に応じた助成を行うとともに、需要増加が見込まれる輸出用米への作付転換を支援し、米価の安定化に向けた需給調整を図ってまいります」としているが、具体的内容について伺う。</p> <p>②国の「経営継承・発展等支援事業」を活用し、将来に渡って地域の農地利用等を担う経営体の確保を図っているが、「チャレンジファーマー支援事業」(5ページ)の内容について伺う。</p> <p>③基本方針3「健やかな暮らしを支える医療福祉の充実」の中で、県央医療圏における救急医療体制の整備に向けて、県央基幹病院の早期実現と県立吉田病院の早期改築を、県へ引き続き要望するとともに、県央地域における看護師不足の解消と人材の地元定着を図るため、県や県央地域の自治体と連携し、地元で看護師を目指す学生に対する就学資金の貸付を引き続き行ってまいりますとしている。 現状と今後の見通しはどのようなものか、3月以後の取り組みについて伺う。(6ページ)</p> <p>④戦略4「人口増戦略を支える都市環境の整備」の中で施策5「快適な環境の確保」では、現在の気候変動に対して「脱炭素社会の推進に向けた新たな取り組みとして、燕市内での風力等の次世代エネルギーの活用の可能性調査を行うとともに、住宅の省エネを推進する『住宅エコリフォーム支援事業』や遠隔により調光操作ができ、エネルギー消費量の削減に資するLED照明灯を大規模公園等に設置する公園等スマートライティング設備整備事業を実施します」としている。 その内容と取り組み、見通し等々について伺う。(13ページ)</p> <p>⑤基本方針2「快適な都市機能の向上」の中の施策3で「人にやさしい道路環境の整備として安全な道路環境を整備するため「市道藤見線」と「市道小高長所線」の拡幅に着手し、道路の狭隘部分の解消に取り組む」としている。 具体的な説明を求めて伺います。</p> <p>⑥施策5の「適正な汚水処理の推進」の中で『「燕市汚水処理施設整備構想」に基づき、公共下水道で整備する集合処理区域においては、計画的・効率的な整備を進める」としている。 現在の普及率等々の現状と、今後の取り組みについて伺う。 また、個別処理区域においては、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進するための補助事業を実施するとしているが、改修する件数は、現在どのようなものか今後の見通しも含めて伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言者 （一問一答方式）	質問項目 （大項目）	質問要旨 （中項目）	具体的な内容 （小項目）
3	土田 昇 （一問一答方式）	2. 柏崎刈羽原発の今後について	(1) 三つの検証について	① 5月29日の県知事選挙で花角知事は県の「三つの検証」が進まない以上は原発は議題にしないと明言しているが「三つの検証」は大変厳しいと考える。市長の見解について伺う。 1. 福島事故の原因 2. 健康と生活への影響 3. 安全な避難方法
4	樋浦 恵美 （一問一答方式）	1. 移住支援について	(1) 燕市移住者住宅支援事業補助金について	①本市では、燕市外から夫婦で燕市へ移り住んだ新婚の皆さんを対象として、賃貸住宅にかかる家賃に対し、最大36万円の補助金を支給しています。これまでの実績について伺います。 ②今後、拡充する考えはあるのか伺います。
		2. 周産期グリーンケアについて	(1) 周産期グリーンケアについて	①流産や死産、人工妊娠中絶といった周産期の死を含め、病気や事故で子どもを亡くした家族への行政の対応について、悲しみを癒す「グリーンケア」の視点がより重視されています。 厚生労働省は、自治体の担当者が当事者に配慮した対応を取る上で参考となる手引きを作成し活用を促すよう、本年4月8日、都道府県などに通知しました。 流産や死産を経験した人が、行政の対応によって心を痛めるケースがないよう、きめ細かい対応が大切であると考えます。 周産期グリーンケアをどう認識されているのか伺います。 ②本市として、どのような対応がされてきたのか伺います。
		3. 男性用個室トイレへのサンタリーボックスの設置について	(1) 男性用個室トイレへのサンタリーボックスの設置について	①近年、前立腺がん、膀胱がんなどの増加に伴い、治療後の生活に必要な尿漏れパッドを使用する男性が増えています。 使用した尿漏れパッドを外出先で捨て場所に苦労している男性もいると思われます。 本市における、公共施設の男性用個室トイレのサンタリーボックスの設置状況と、設置についての考えを伺います。
5	丸山 吉朗 （一問一答方式）	1. 教育について	(1) 株式投資信託などの教育について	①投資信託、株式会社、株取引、証券会社、銀行、NISAなどの利用方法や運用などの学習について教育委員会のほか、市長の考えもお聞きしたい。 ②10代で学びたいお金の知識について、学校でアンケートなどを取られたことがあるか。また、考えられたことがあるか。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
5	丸山 吉朗 (一問一答方式)	1. 教育について	(2) 学校教育について	<p>①保護者と教師の間で、子供に対する考え方に隔たり、乖離があるのではないかと。子供に対する期待、未来、希望、将来などについて。</p> <p>②デジタルトランスフォーメーション、GIGAスクール構想により、個人主義になりやすいのではないかと。そのためのフォローなどの対策は講じられているか</p> <p>③社会構成、モラル、イデオロギーなどに対する教育が不足しているのではないかと。文部科学省、国などの教育指導と思われませんが燕市の子供たちに対し教育長の考え、方針をおたずねします。</p>
6	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 公立公的病院のあり方について	(1) 公立公的病院のあり方について	<p>①総務省が3月「公立病院経営強化ガイドライン」を地方自治体に通知した。これは新型コロナウイルス感染症患者受け入れを担った公立病院の役割に鑑み、病院統廃合ありきの従前の「ガイドライン」を軌道修正したものと、新聞でも報じている。変更部分など概略と認識について伺う。</p> <p>②この「新ガイドライン」に基づき、新潟県は今後「公立病院経営強化プラン」を作成する。この機を捉え、県に対し公立病院統廃合や病床削減計画の見直しを求めるべきと思うが、認識を伺う。</p> <p>③県立吉田病院の今後の運営主体について、3月議会で「県病院局長が公設民営とは県立病院であり、最終的責任は設置者の県にあると明言している」ので、県が責任を持つものと認識している」と考えを示されたが、どこまで責任を持つのか、今後も起こりうる感染症の対応などの役割を担うと想定できるのか、認識を伺う。</p>
			(2) 県立燕労災病院の跡地利用について	<p>①県立特別支援学校の整備という方針が示されたが、今後のスケジュールなど市として把握していることを伺う。</p> <p>②県立吉田特別支援学校や月ヶ岡特別支援学校との連携や就学児童生徒にとっても利便性が図られるよう、今後本市として要請していくべきと思うが、認識を伺う。</p>
		2. コロナ禍、物価高での市民生活への影響について	(1) 納税相談について	①納税相談の現況について伺う。

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
7	田澤 信行 (一問一答方式)	1. 西部卸売市場の新築移転について	(1) 現状の計画について	<p>①株式会社新印青果西部卸売市場の新築移転については、令和5年7月オープンを計画しており、燕市としても同地域を通学する児童と歩行者の安全を確保するために歩道の拡幅工事並びに交差点改良のために1億160万円の予算を計上しています。</p> <p>(民間とは言え)目に見えて分かる大きな事業に対して近隣住民や市民の期待も大きいことだと思いますが、昨年12月21日以降、住民説明会が行われていません。今後、いつ・どのような形で住民説明会を開催するのか伺います。</p> <p>②今年度予算1億160万円で歩道の拡幅工事、交差点の改良工事によって通学する児童と歩行者の安全を確保すると言っているが、その根拠となるものを伺います。</p>
			(2) 移転後の同施設のビジョンや位置づけについて	<p>①今回の卸売市場の新築移転は、市場規模は違うものの東京の築地市場を連想させるものと思います。当然、人流も増えることを想定していると思いますが、今回の移転を契機にどの程度の市場拡大が図れると考えているのか伺います。</p> <p>②同施設が本格的に稼働した場合、燕市としても人流拡大に貢献し得る意味のある施設になると考えるが、今後のビジョンや位置づけをどのように考えているのか伺います。</p>
		2. 新教育長の教育方針について	(1) ICT教育の課題について	<p>①燕市は他市に先駆けてタブレットや電子黒板によるICT教育を推進していますが、ICT教育がもたらすメリットとデメリットについてどのように考えているのか伺います。</p> <p>②タブレットを自宅に持ち帰り活用する場合、Wi-Fiのインフラ整備が必須となります。家庭にそのようなインフラが整備されていない場合、教育委員会としてはルーターのリース(又はレンタル)を紹介しているようですが、いずれにしてもランニングコストが掛かり家庭の負担になります。</p> <p>GIGAスクール構想を推進する自治体であれば、平等な教育を担保するためにもルーターの無償貸し出しなど家庭内のインフラ整備に努める必要があると考えるが如何でしょうか。</p>
			(2) SNSを中心とした情報化社会における教育対応について	<p>①現代社会はSNSを中心に多種多様な情報が氾濫しているといっても過言ではありません。また、その情報を子供たちも容易に入手することが可能であり、そのことからいじめなどの問題に発展することも否定できないと思っています。</p> <p>現在の情報ネットワーク社会における教育の在り方、子供への教育の仕方・接し方など、どのようにお考えか伺います。</p>

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
8	岡山 秀義 (一問一答方式)	1. 高齢者支援について	(1) コロナ禍での高齢者生活実態について	<p>①長期に及ぶコロナ禍の影響により、高齢者の外出頻度が減少し高齢者の生活実態を把握することが難しくなっている。若者のようにオンラインでのコミュニケーションもできず、人との交流も激減しているのが実情である。</p> <p>市における高齢者事業は、中止や規模縮小となり、多くの高齢者が家に閉じこもりがちになっている。委託先法人も感染リスクを考え、自宅訪問もかなり限定的となっていた。市民の命を守る行政として高齢者の実態を把握することが重要であると考えている。コロナ禍における高齢者、独居高齢者や高齢者のみ世帯の実態把握の現状はどうか。</p> <p>また、今後更に増加する高齢者人口・高齢者世帯に対し、どのようにお考えか見解を伺う。</p> <p>②既存事業の中止や規模縮小により生活習慣が大きく変化してきた。</p> <p>高齢者は感染を恐れて自宅に閉じこもりがちになることで、身体機能や認知機能の低下が懸念されている。コロナ禍で活動継続のために行ってきた工夫にはどういったものがあるのか伺う。</p>
			(2) 地域コミュニティによる見守りについて	<p>①少子高齢化や核家族化が進み、人と人とのつながりの希薄化、高齢者の孤立化といった社会問題が浮き彫りになっている。</p> <p>また、コロナ禍や、さまざまな社会環境の変化に伴い、住民ニーズがますます多様化している。高齢者世帯だけではできない防災、防犯、その他必要な支援等の課題について地域コミュニティ組織での取り組みが重要であり、より一層必要である。</p> <p>困っている高齢者へ生活支援コーディネーターを中心に、自治会・まちづくり協議会・民生委員・地域包括支援センター等の関係者が、コロナ禍でどのような取り組みをすることができたのか伺う。</p> <p>②地域コミュニティ活動が停滞している現在、高齢者を守るために地域に住む住民が、声をかけ合い、支え合い、助け合える関係を築くためにも、地域での「支え合い活動」が重要である。若い世代にも高齢者を地域全体で守ることを認識してもらい、燕市全体の取り組みとして啓発していくことが必要と考えるが見解を伺う。</p>
			(3) おかえりつばめ〜ルについて	<p>①認知症高齢者などの行方不明者は、少しでも早く発見することが重要である。燕市では警察と連携して「おかえりつばめ〜ル」として配信し、企業と市民で行方不明者情報を共有・早期発見するメールを登録制で配信している。令和2年22人・令和3年12人の行方不明者に対し成果と「おかえりサポーター」登録数について伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言者 （一問一答方式）	質問項目 （大項目）	質問要旨 （中項目）	具体的な内容 （小項目）
8	岡山 秀義 （一問一答方式）	1. 高齢者支援について	(4) 高齢者が利用しやすい公共交通について	① 燕市循環バス「スワロー号」、弥彦・燕広域循環バス「やひこ号」、予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」を運行し、市民の足となってもらっている。 しかし、高齢者には停留所が遠く利用できないとの声を多く聞く。合併当初に巡回していた「白ふじ号」「パーベナ号」「さくら号」のような、街中を通り高齢者も利用しやすくなるよう検討できないか見解を伺う。
		2. 児童生徒を守るために	(1) 小中学校のいじめの現状・対策について	① 学校は子供たちにとって、一日の生活の大半を過ごす場所であり、学校こそが夢や希望を持ち、毎日楽しく通い、健全に心と身体を育てる場所であってはならない。 しかし、そんな学校でいじめにあい、辛い思いをしている子供が多くいるという現状がある。いじめとカウントする基準が軽くては重くても、被害を受けた子供が辛い思いをすれば、それはいじめである。いじめを生まない・許さないという未然防止、いじめに気づく・見逃さないという早期発見できるよう、道徳教育・人権教育を強化し、いじめや差別のない学級・学校づくりをしなければいけないと強く思うが見解を伺う。 ② 現代社会では核家族化や共働き等により親子との会話が減少しているように感じる。また、親が気づけないことを教員が気づいてあげることも難しいところである。友達にも怖くて言えない、友達に迷惑をかけてしまう。そんな思いから誰にも言えないで苦しんでしまう。 教育委員会や教員は、子供たちの心の声を届けてもらうため懸命に対策・対応し、ひとつのいじめも逃さないよう尽力しているが届かないこともある。今までアンケート実施など対策してきたが今後改善しなければいけないと考えるが見解を伺う。
			(2) 校舎や通学路の防犯カメラについて	① 防犯カメラの映像が決め手となる犯人逮捕の報道をよく聞く。市では防犯カメラ設置補助金として自治会には毎年防犯カメラが増設されている。防犯カメラには、犯罪抑止効果もあり子供を犯罪から守る効果が絶大である。近年、児童生徒の保護者が利用している連絡網マチコミメールに不審者情報が毎年増加している。 しかし、通知されても犯人特定までは至っていないのが現状である。子供たちを犯罪から守るためにも市内小中学校の校舎や通学路を中心に防犯カメラの設置促進を図るべきと考えるが見解を伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
8	岡山 秀義 (一問一答方式)	3. リユース推進について	(1) 資源ごみ回収・子育て支援連携事業	<p>① 燕市では、市内事業所から飲用のアルミ缶・スチール缶を寄附していただく「カンカンBOOK」、市民より着なくなった洋服等を寄附していただき、その売却益で児童館や児童研修館の絵本などを購入する事業がある。</p> <p>他自治体でもリユース推進事業を強化している。市民が必要なくなった不要なごみでも、海外に渡れば宝物となる。ごみの減量化が進めば焼却炉延命にもつながると考える事業拡大について見解を伺う。</p>
9	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 農業と製造業について	(1) 農業産出額のこと	<p>地方紙の特集で「政治はどこへ、失速30年の県勢」というタイトルで項目別に</p> <p>(イ) 県内総生産 (ロ) 農業産出額 (ハ) 製造品出荷額</p> <p>(二) 外国人延べ宿泊者数</p> <p>の4項目が取り上げられた。ここでは(ロ)と(ハ)に取り上げられた項目について一般質問を行う。</p> <p>① 記事では、農業産出額という見出しの項目の他に「コメ頼み脱却に遅れ」という大見出しと中見出しが「園芸振興進む山形県との差」となっている。県全体の農業産出額は1994年が4,169億円、直近の2020年は2,526億円と4割減、本市の2020年の農業産出額を伺う。</p> <p>② 2020年の園芸産出額について本県が523億円、山形県は1,277億円となっている。本市の2020年の園芸産出額を伺う。</p> <p>③ 県が2019年「園芸振興基本戦略」を打ち出した。6年間で販売額1億円以上の産地数倍増、栽培面積1千ヘクタール増と具体的な数値目標を設定。JAや農家へのヒアリングを徹底し、実態に応じた支援を図る。推進組織に県や市町村、農業団体だけでなく、流通関係者も加え、一枚岩で取り組み、と記事にはあるが、この基本戦略の本市での実態を伺う。</p>
			(2) 製造品出荷額のこと	<p>① 製造品出荷額という見出しの項目に「地域の強み生かせず」という大見出しと「医療に注力福島県は進展」という中身だしが記載されている。本県の製造品出荷額のピークは1991年の5兆2,274億円、福島県のピークは2007年の6兆1,805億円、本市の2019年の製造品出荷額を伺う。</p> <p>② この特集の連載の終盤に大学教授のインタビューが載せられている。本県が勢いを取り戻す鍵はどこにありますか、という問いに「例えば野菜で言えば、新潟は枝豆王国だが、他県には知られていない。山形県特産のただちや豆のようにもうひと頑張りすればいい。地元の人たちが地元のものの評価しない限り、前には進まない」続いてこうも言っています。「新潟には世界水準と言えものがある。ものづくりで燕・三条をしのぐところは日本にはない」この発言を当局はどう捉えているか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
9	柳川 隆 (一問一答式)	2. 資料館について	(1) 郷土資料館のこと	<p>燕市には「産業史料館」「良寛史料館」「長善館史料館」と他に誇るべき3つの史料館が存在しているが、燕市の歴史、文化を後世に伝えるべき一般の「郷土資料館」が存在しない。現在各地で建物の取り壊しが実施されているが、今のうちに収集できるものは収集し、しかるべき所に保存すべきである。</p> <p>①民俗資料等は現在どこに保管されているのか伺う。 ②古文書等の資料はあるのか。整理保存はされているのか伺う。 ③埋蔵文化財の保管はどこにあるのか伺う。 ④公文書等は規定による保存、廃棄年限が決められていると思うが、歴史的価値のあるものはどうやって保存されているのか伺う。 ⑤道路改良時の図面、住宅地図、団地造成図、写真等保存庫は現在の「産業史料館」に併設すれば関連性もあり、公開時の利便性もあると思われるがいかがか伺う。</p>
			(2) 産業史料館のこと	<p>①産業史料館はもともと旧燕市によって建設されたものであり、金属関係が中心となるのは当然であるが、旧吉田町にもかつて盛んであった「吉田晒」すなわち白木綿の製造があった。「吉田晒」は江戸時代から行われ、明治、大正、昭和と近代化を図りながら継続されてきたが、昭和40年代紙おむつの出現、発展途上国の追い上げ等で厳しくなり、伝統の「吉田晒」は終わった。しかし、産業の歴史として大きなものであり、「産業史料館」にぜひコーナーを設けてほしいと思うが当局の見解を伺う。</p>
10	大岩 勉 (一問一答式)	1. 燕市長選挙の結果について	(1) 燕市長選挙の結果について	<p>①22,222票 鈴木市長としては、市長選挙で初めて得た大きな得票数ですが、得た票の重みと市長選挙を振り返って感じられたことを伺う。 ②告示日になってもポスター掲示アルバイトを募集していた相手候補の得票7,283票に対しては、どのように感じられているか伺う。 ③投票率が45.31%でした。過去の市長選挙の平成15年12月57.03%、平成16年9月60.69%と比べても、今回の投票率の低さの原因は何処にあると思われますか伺います。</p>
		2. 新潟県議会議員補欠選挙での燕市及び選挙管理委員会の問題点について	(1) 新潟県議会議員補欠選挙での燕市及び選挙管理委員会の問題点について	<p>①候補者が告示後有権者に配布できるものは法定はがき以外に、何があるのか伺います。 ②燕商工会議所会頭と専務が当選された県議候補者名が大きく記載されている集会の案内チラシを大量に、投票日直前にFAXされているが選挙違反行為にあたるのではないかと伺う。 ③燕商工会議所には、燕市より補助金が交付されている団体であり、補助金が広報事業費として選挙利用されているならば、大問題であり、減額するか返済請求されるべきと思う。 市長及び筆頭部長・総務部長の見識を伺います。 ④期日前投票所は、投票率を上げるため設置されており、手続きも簡素化されたはずなのに、燕庁舎では期日前投票宣誓書を持参しても投票できないのはなぜか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
10	大岩勉 (一問一答式)	3. 成年後見人制度の利用増加に伴い、後見人不足が懸念される対策について	(1) 成年後見人制度の利用増加に伴い、後見人不足が懸念される対策について	① 認知症などで判断能力が不十分な人を支援する成年後見人制度で、制度利用に向けた調整を担う「中核機関」の設置を燕市はされているのか伺う。 ② 高齢化により、成年後見人制度の利用増加を背景にニーズが高まっている「中核機関」を、設置し市民サービスに取り組むべきと思うが担当の所見を伺う。
		4. 燕市中学校スポーツ部活動の推進計画を伺います	(1) 県が進める「地域運動部活動」について伺う	① 県の部活動改革検討委員会は、各市町村教育委員会が地域移行後の受け皿として活動を担う総合型地域スポーツクラブや各競技団体の主導でモデル事業を実施整備進めており燕市としての取り組み状況を伺います。 ② 国は2023年度から中学校の休日の部活動を、地域の活動に段階的に移行する方針を掲げました。燕市教育委員会としての所見を伺います。 ③ 学習指導要綱に「学校教育の一環」とする記載があることで、部活動は教員の責任で運営されてきましたが、部活動の新たな動きが進むと思います。現状の部活動の休部廃部はされないと思いますが、教育長の所見を伺います。
11	タナカキン (一問一答式)	1. 4月の市長選挙について	(1) 選挙における市長の姿勢について	① 4月の市長選挙の投票率は45.31%と16年前の市長選挙の70.81%を大きく下回ったが、この数字について選管はどう受けとめているか伺う。 ② 市長は街宣車を出さなかったが、その理由について伺う。 ③ 法定ビラも出さなかったが、その理由について伺う。 ④ これでは、全市民に向けて政策を訴えたとは言えないが伺う。
		2. 学校生活に関するアンケート調査について	(1) 記名式について	昨年11月9日に燕市吉田中学校の生徒が校舎から転落、命が失われた事案は吉田中学校の生徒や保護者だけでなく、市内の子供を持つ保護者にも、とてもショックな出来事であった。生徒にとって、安心・安全な生活は学校生活の土台であり、何よりも優先されなければならないことである。 ① 燕市でも学校生活に関する調査を定期的に行っているが、記名式を採用している。無記名式でない理由について伺う。
		3. 「広域火葬計画」について	(1) 「広域火葬計画」について	令和4年2月7日付で厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課から、各都道府県・市町村・特別区に対して「オミクロン株の感染症流行に対応した広域火葬計画の整備について」の通達があった。 ① 「広域火葬計画」はどのような事態の時、出されるのか伺う。 ② オミクロン株は感染力は強いが、毒性は弱く重篤者や死亡者数は少ないと言われてきたので、不思議である。今後、死亡数の増加を見込んでのことであるが、国の想定している緊急事態とは何か伺う。 ③ 全国的に死亡者数は増加しているか伺う。 ④ 今年に入ってはどうか伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
11	タナカ キン (一問一答方式)	4. コロナワクチン接種について	(1) 副反応等による被害について	①書店をのぞくと、現在ワクチン接種を奨励する内容の本はほとんど無く、逆に副反応や後遺症など、ワクチン接種に否定的な本ばかりが並んでいる。市の担当者は、こういう本を読んでいるか伺う。 ②4月20日、県と新潟市は新型ワクチンの副反応疑いに関する報告事例がこれまで218件あり、そのうち死亡が20件あったと公表した。燕市での報告事例について伺う。 ③接種を開始して、今年の5月末までの厚労省が報告をあげている副反応事例や死亡数について伺う。
			(2) 後遺症の救済について	①名古屋市では、接種後に体調不良を訴える市民に相談窓口を設け、治療体制の整備を行っている。燕市でも後遺症に苦しんだ市民がいると聞いているが、相談体制について伺う。
12	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 大河津分水路について	(1) 大河津分水路通水100周年について	①大河津分水路通水100周年における、インフラツーリズムの現況を伺います。
			(2) 残土利用について	①大河津分水路工事の残土利用について市長の認識を伺います。
		2. 国定公園について	(1) 燕市内公園における国定公園について	①燕市内にある国定公園についての認識を伺います。 ②国定公園の観光利用について。 ③佐渡・弥彦国定公園、その名称の意味あいについてどのように捉えているのか伺います。
			3. 小中学校の教育について	(1) 働き方改革と部活地域移行について
		(2) ふるさと教育について	①燕市では、平成28年度から、第2次学校教育基本計画において「ふるさと燕」への愛着や誇りとグローバル社会を生き抜く力を育むことを目標として掲げ、7年目を迎えているが、ふるさと教育の成果と課題を伺います。 ②大河津分水通水100周年を迎える今年は先人の偉業に触れ、これからのふるさとに思いを馳せる好機と考えるが、今年度のふるさと教育の取り組みについて伺います。	

(次ページへ続く)

発言の順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
12	齋藤 信行 (一括 質問一 括答弁 方式)	3. 小中学校 の教育に ついて	(3) 新教育長 としての抱 負について	①全国でも類を見ない教育立市宣言を掲げる燕市に新教育長として就任した小林氏に、教育長としての抱負を伺います。あらためて「ふるさと燕」への思いも伺います。
		4. 市長のふ れあいト ークにつ いて	(1) 市長の4 期目の始め である今年 度のふれあ いトークに ついて	①近年はコロナ禍のため、市長とのふれあいトークは行われず、市長と直接ふれあう機会がなかった。今年度はそういった機会を作る考えはあるか。